

シグマ研究委員会

崩壊熱評価サブ・ワーキンググループ会合議事録

日時 : 昭和54年9月28日(金) 13:30-17:00

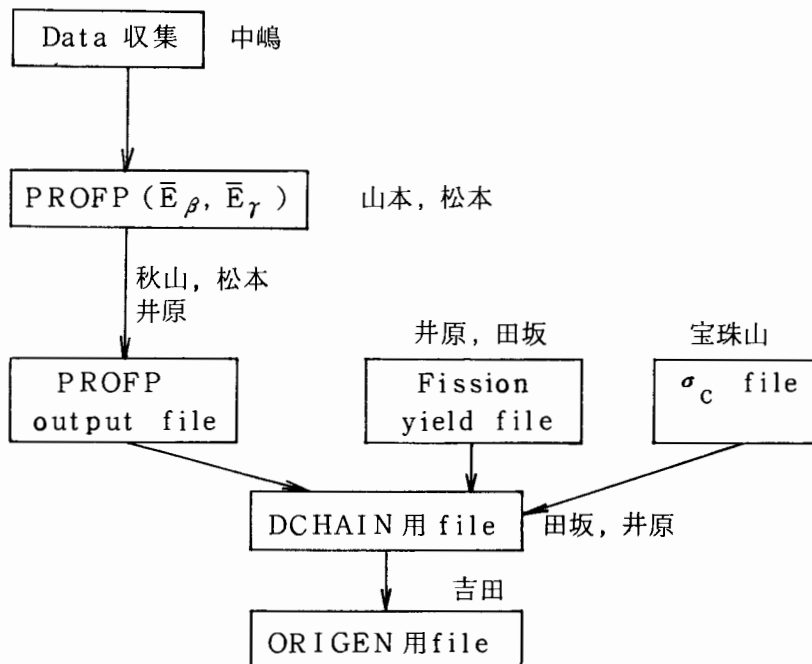
場所 : 原研, 東海研

出席者 : 中嶋(法大), 秋山(東大), 吉田(NAIG),
宝珠山(MAPI), 松本(原研), 井原(原研, オブザーバー)

議事

1. 崩壊熱データ・ファイル作成作業計画と分担

前回の会合で決めた作業計画および分担の全体図は下記の通りで, 年末を一応の目標として作業を進める。



山田氏のQ値を用いた, 未知核種の $\bar{E}_\beta, \bar{E}_\gamma$ の推定 : 吉田, 田坂

2. Cumulative fission yield 計算のための, Reider - Meek の independent yield のカード化については, 核データ研の方で依頼していたアルバイターの採用が不可能になり, 作業計画が遅れた。この件については, 田坂氏の方で作業を進めて貰うことになった。
3. PROFP output file の作成について, 秋山氏が検討した結果, 今迄の input data だけでは, 問題にしている FP 核種の自分自身に isomeric transition があるか否かの information が書けないことが分った。これは崩壊熱計算の上では影響はないが, それを取入れられるような形で output file の作成プログラムを考える。
4. 中嶋氏より, 田坂氏が NRC - report に出した様な形で, 崩壊熱に関係した FP 核種のデータ内容の作表をしたいとの提案があり, その内容, プログラムについての検討を行った。

表に含めるものは, 核種名, 半減期 (T), 崩壊定数 (λ), Q 値, $\langle E_{\beta} \rangle$, $\langle E_{\gamma} \rangle$, $\langle E_N \rangle = \langle E_e + E_x \rangle$, 親核種名, 崩壊様式, 分岐比とする。output file を拡張して, 必要なものを含めるプログラム, および仕様を秋山, 田坂, 松本で考える。

誤差を含めると, 1 核種の作表を 1 行におさめるのは困難である。
5. 山田氏の質量公式による β 崩壊の Q 値については, 結果を送って貰うように依頼してあるが, 受取り次第, 中嶋, 田坂, 吉田へ送るようにする。
6. 熱中性子捕獲断面積については, 宝珠山が担当し, JENDL より新しいデータを採り, 27 群表示に移す作業を行う。